

2

森 寺

SEIJU

1984

春季号



横浜 善光寺刊

拜啓 凌きよる好時節と相あり
愈々市情洋のこころなるもす
さき、生壽の第二号出来のりので
おつゆけ致す。今回はあつた長久寺の
新に文化路線として海外留学僧
派遣育英会の設立も中山の志を
構案にたす。大に市高讀くださ
ますようお願ひ致す
末筆ながら今後一層の市情味も
祈念し併せ今後回の市情方をとお
市願に申すたす
合掌

三月吉日

長久寺住持 黒田大因

(武志)

右佳殿

不^は放^げ逸^み

地^ちに在^あるもの^をみる^ごとく
山^や頂^まに立^たつひと^の
憂^{うれ}ある^愚衆^とを^みおろ^すなり
こころ^にうれ^いなく^して
智^ち慧^ゑの^高閣^やに^のぼ^り
放^は逸^ゑを^却け^し賢^{けん}人^とは
は^げみ^もて

「法句経」



森 幸

SEIJU

1984 幸 季 号

